

22年3月期 第1四半期 連結業績について

執行役員 常務

岡 恭彦

2021年7月30日

The SCSK logo consists of the letters "SCSK" in a bold, blue, sans-serif font. The letters are slightly shadowed, giving them a three-dimensional appearance. The logo is positioned in the bottom right corner of the slide, above the company's slogan. The background of the slide features several colorful, wavy lines in shades of blue, yellow, and purple that sweep across the bottom and right sides, creating a sense of movement and growth.

夢ある未来を、共に創る。

- 業績概要（PL・受注高・受注残高）
- 売上区分別（売上高・受注高・受注残高）
- 業種別売上高
- セグメント別業績
- 営業利益の増減分析
- 新型コロナウイルスへの対策について
- 中期経営計画 基本戦略
- 株式分割/配当予想修正について
- グループ3社統合（SCSK Minoriソリューションズ設立）の契約について

(単位：百万円)

	21年3月期	22年3月期	増減額	増減率
売上高	94,356	99,210	4,853	5.1%
売上総利益	24,045	25,428	1,383	5.8%
売上総利益率	25.5%	25.6%	0.1%	
販売管理費 [※]	△ 13,766	△ 14,541	△ 775	5.6%
営業利益	10,279	10,887	607	5.9%
営業利益率	10.9%	11.0%	0.1%	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	7,260	7,703	443	6.1%
受注高	83,738	87,314	3,575	4.3%
受注残高	136,523	151,376	14,852	10.9%

※ その他の収益及び費用を含む

システム開発

(単位：百万円)

	21年3月期	22年3月期	増減額	増減率
売上高	38,664	40,494	1,830	4.7%
受注高	38,543	39,798	1,255	3.3%
受注残高	36,244	36,485	240	0.7%

- 売上高
 - ・運輸業の基幹システム案件やガス業のシステム更新において案件の収束
 - ・通信業向け顧客接点強化のためのIT投資、機械業向け基幹システム案件、銀行業向け海外業務案件に加えて、生損保業向け基幹システム案件などが順調に推移
- 受注高
 - ・流通業向け基幹システム再構築案件にて反動減
 - ・銀行業向け海外業務案件や証券業向け事業基盤強化案件、また、機械業向けの生産/販売管理システムに加えて、通信業において、顧客接点強化のためのIT投資により増加
- 受注残高
 - ・生損保業で大型案件のピークアウトによる影響があったが、案件受注に伴い増加

保守運用・サービス

(単位：百万円)

	21年3月期	22年3月期	増減額	増減率
売上高	36,851	39,515	2,664	7.2%
受注高	30,071	32,053	1,982	6.6%
受注残高	86,343	93,078	6,735	7.8%

➤ 売上高

- ・非対面での顧客接点強化やデジタル化による業務改革への取り組みを背景に、コンタクトセンターやEC関連によるBPOビジネスが引き続き堅調に推移したことに加えて、データセンタービジネスが増加したこと、また、銀行業においてマネジメントサービスが増加し、順調に推移

➤ 受注高・受注残高

- ・売上高同様の要因に加えて、検証サービスが増加

システム販売

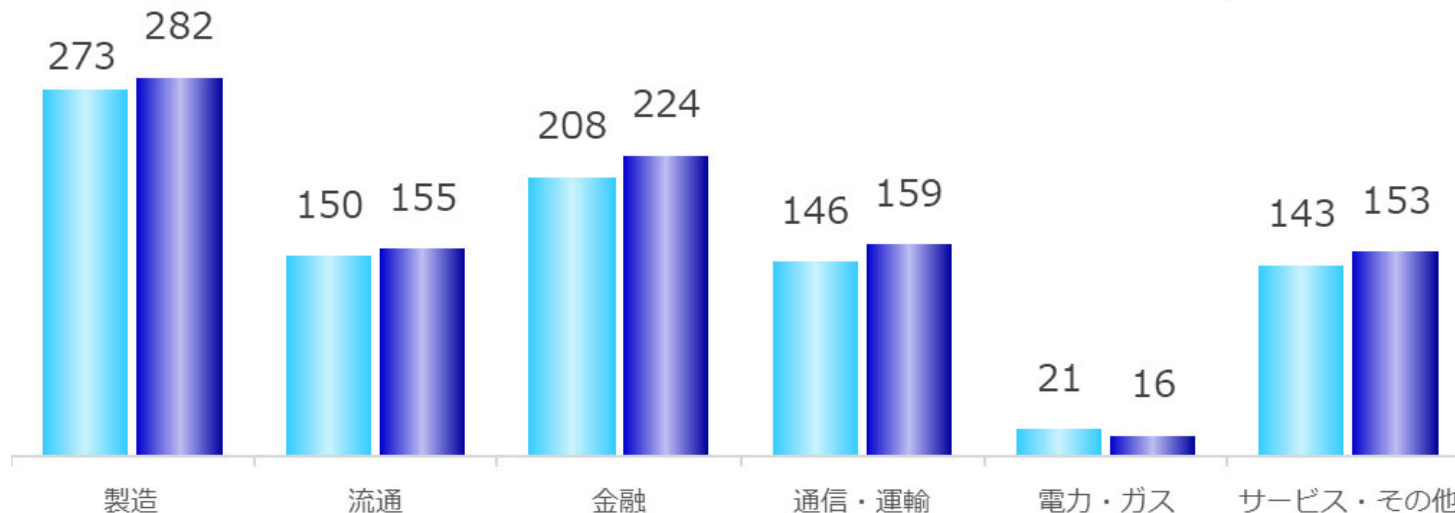
(単位：百万円)

	21年3月期	22年3月期	増減額	増減率
売上高	18,840	19,200	359	1.9%
受注高	15,124	15,462	338	2.2%
受注残高	13,935	21,811	7,876	56.5%

- 売上高
 - ・ネットワーク製品、セキュリティ製品の需要拡大
 - ・通信業向けネットワーク機器販売の次世代モデルの販売開始
- 受注高
 - ・食品業にてライセンスの反動減があったが、売上高と同様にネットワーク製品、セキュリティ製品の需要拡大があったことから増加
- 受注残高
 - ・学術研究機関向けハード販売の反動減があったが、前期第4四半期に一括注文を受けた通信業向けネットワーク機器の影響もあり増加

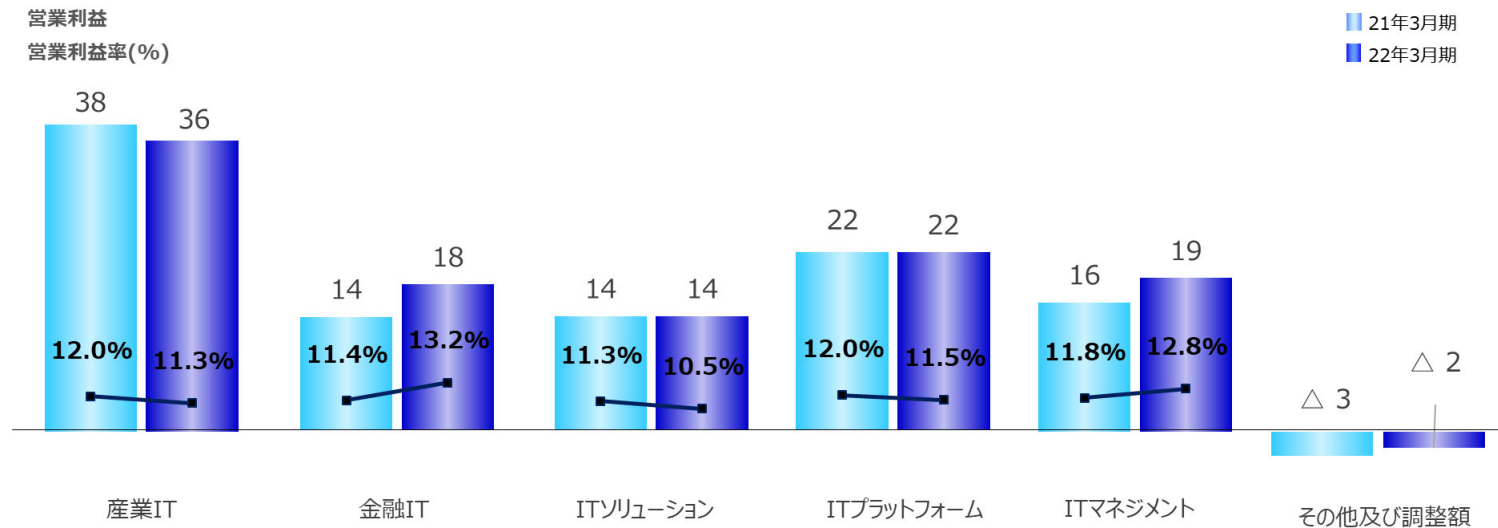
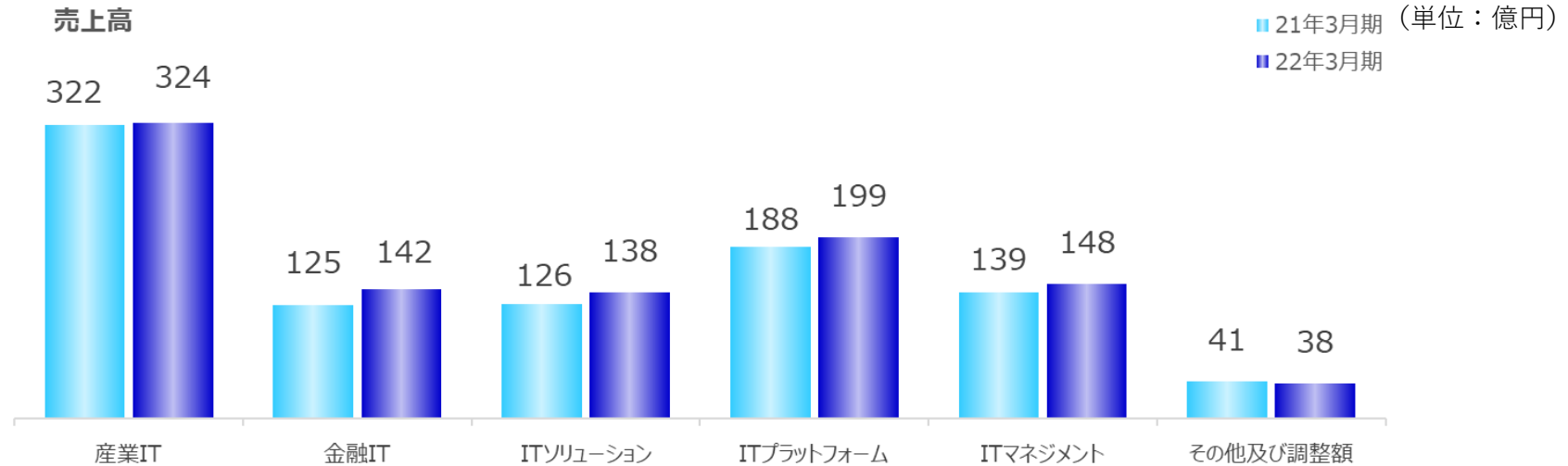
業種別 売上高

■ 21年3月期 (単位：億円)
■ 22年3月期



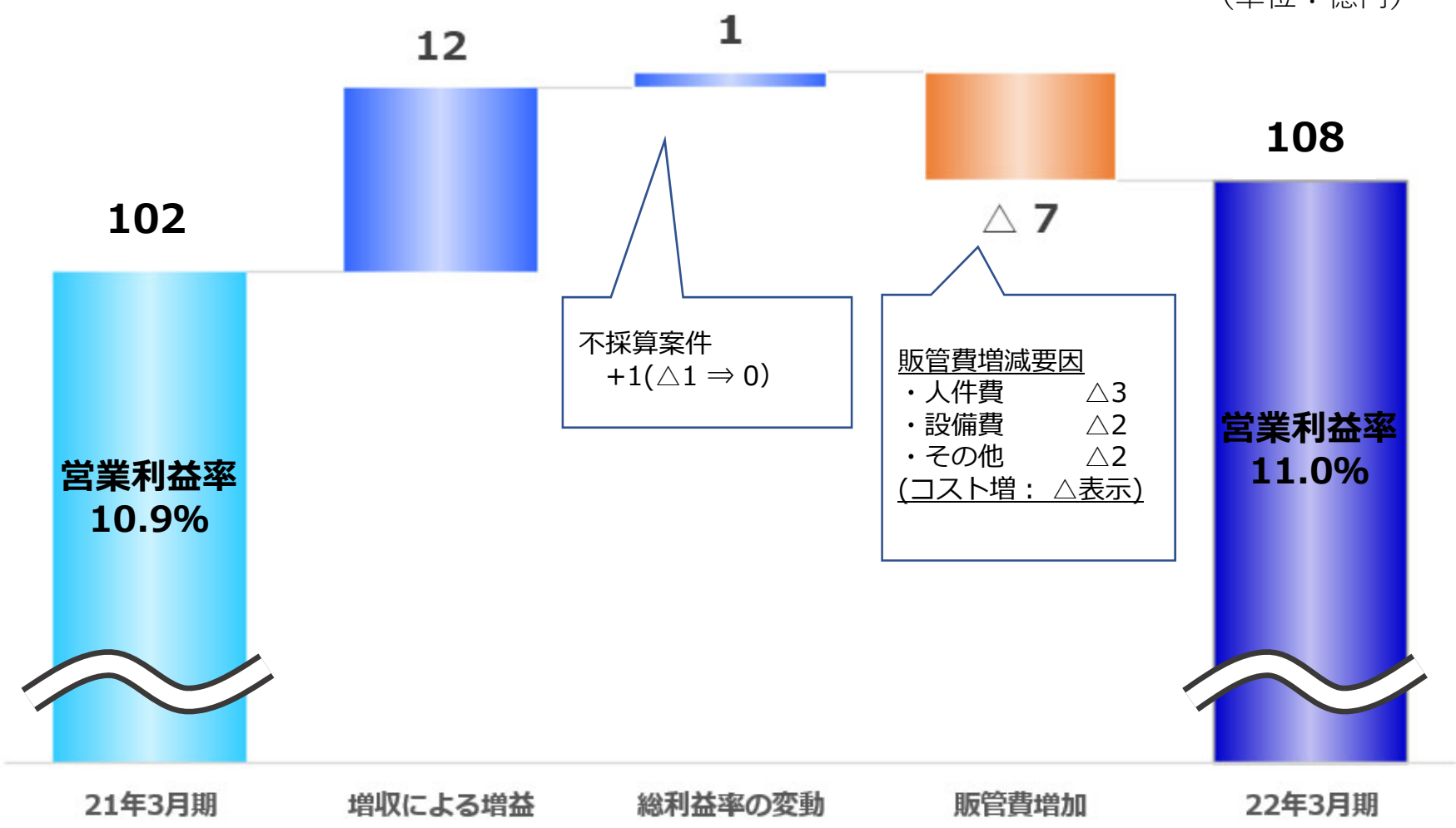
- 製造業は、食品業向けの次期EDIシステム開発やライセンス販売があったこと、機械業向けの基幹システム構築案件に加えて、精密機器メーカー向けの開発需要や保守取引が増加
- 流通業は、ネットワーク製品、セキュリティ製品の販売が増加
- 金融業は、銀行業向けのシステム開発案件や生損保業向けの基幹システム案件に加えて、銀行業向けマネジメントサービスの需要拡大により保守運用・サービスが増加
- 通信・運輸業は、運輸業向け基幹システム構築案件の反動減があったが、通信業向け顧客接点強化の為にIT投資およびネットワーク機器販売などで増加
- 電力・ガス業は、主にガス業におけるシステム開発において、案件が収束
- サービス業・その他は、データセンタービジネスやEC関連等で増加

セグメント別業績（売上高/営業利益/営業利益率）



営業利益の増減分析

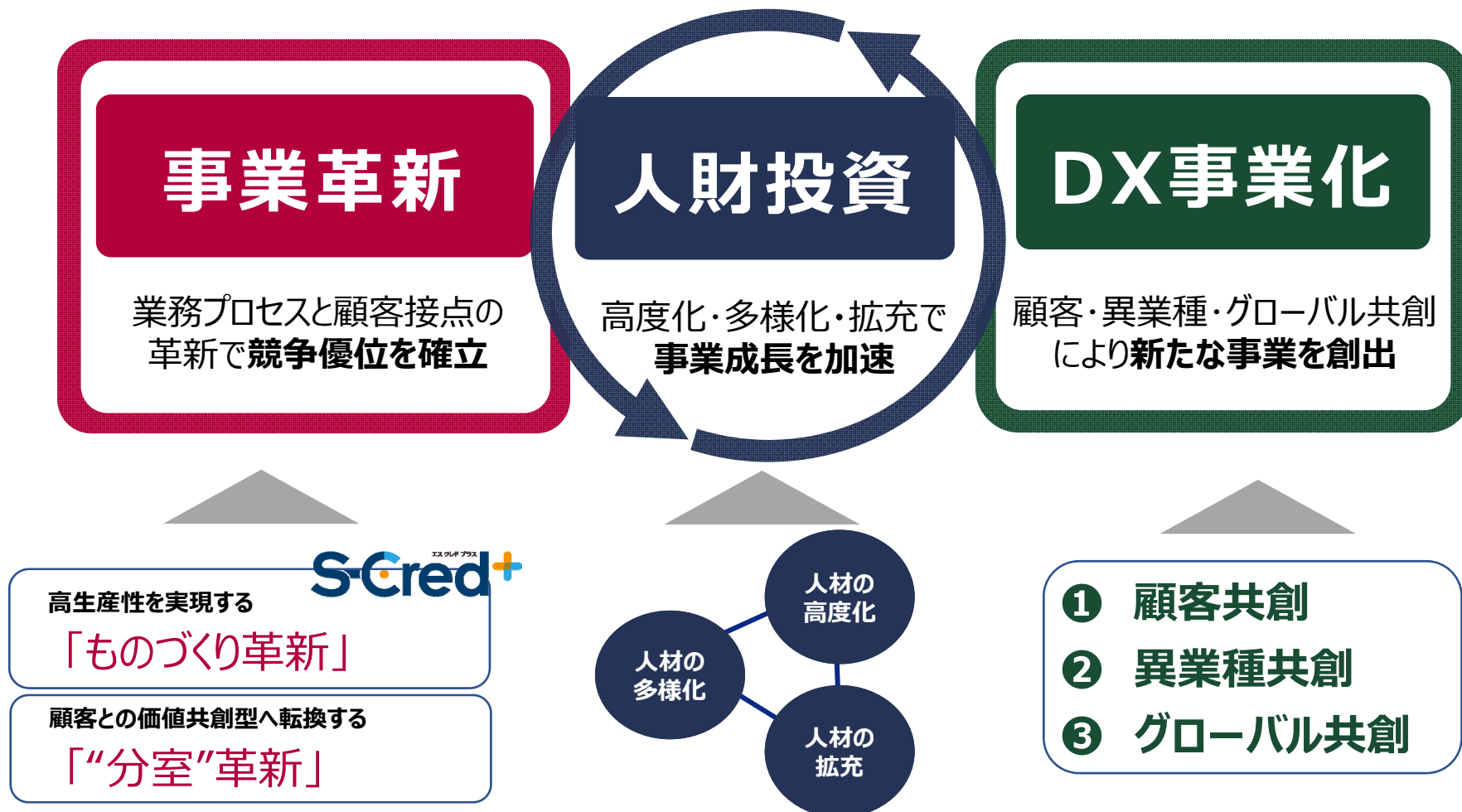
(単位：億円)



- 新型コロナウイルスワクチンの職域での接種に関する政府方針の発表を受け、SCSKグループ社員、及び、パートナー社員を対象に7月より接種を開始
- 自社の新型コロナウイルスワクチン職域接種予約システムを「S-Cred+プラットフォーム」の活用により短期間で構築
- リモートワークなど柔軟な勤務を常態としながら、高い生産性と働きがいを実現する「新しい働き方」を推進

中期経営計画 基本戦略（21年3月期～23年3月期）

■ 3つの基本戦略と経営基盤強化により、グローバルベースで事業を拡大



経営指標

売上高：
5,000億円以上

営業利益率：
10.0%～12.0%

ROE：
15%以上

維持目標

ROIC：
10%～12%

沖縄県とSCSK株式会社が「首里城復興におけるDX推進に関する連携協定」を締結



左：SCSK株式会社 代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者 谷原 徹
右：沖縄県知事 玉城 デニー

	項目	構想（検討）中の主な取組
1	首里城公園及び周辺地域のさらなる魅力の向上	目的地型（点）から周遊型（面）へのシフトを促す仕組み作りによる観光資源有効活用 ⇒地域経済貢献/観光体験向上
2	暮らしと観光が両立したまちづくり	観光客（観光事業者）の自発的行動変容を促す仕掛けづくりによる渋滞・駐車場問題の解消 ⇒地域・観光客の満足度向上
3	ニューノーマルにおける新たな観光施設のありかたの実現	「新しい生活様式」に則った観光施設・イベント運営の実現 ⇒観光客への安心・安全の提供/受入れ観光地側の対策負荷低減
4	歴史を体現できる都市空間の創出	景観形成や建造物復元による歴史的風致の向上と、歴史に関するデジタルコンテンツの融合 ⇒魅力的な歴史まちづくり実現
5	段階的整備、見せる復興に関すること	段階的整備状況のデジタル技術を活用した発信による「見せる復興」 ⇒適切な情報発信によるリピート需要創出
6	その他、地域活性化の促進、地域社会への貢献等に関すること	産官学および地域による「共創」の場作り ⇒双方向コミュニケーション、共創による地域課題への取り組み

➤ TCFDの提言に賛同

金融安定理事会が設置した「気候関連財務情報開示タスクフォース」による提言への賛同を表明

➤ SBTイニシアティブによる「1.5℃目標」の認定を取得

SCSKグループの温室効果ガス排出量削減目標

Scope1+2

- 2030年度までに2019年度比で47%削減（1.5℃目標）
- 2050年までに排出量を100%削減

Scope3

- 2030年度までに2019年度比で28%削減

➤ グリーンボンドを発行（発行額 50億円）

省エネ化による環境配慮型のデータセンターとして設立する「netXDC千葉第3センター」の建設、改修、取得および運営にかかる支出に充当

株式分割/配当予想修正について

➤ **2021年9月30日を基準日とする「1対3」の株式分割の実施を、7月30日の取締役会にて決議**

➤ **株式分割の目的**

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性を高め、投資しやすい環境の整備と投資家層の拡大を図る

➤ **株式分割の概要**

- ✓ 株式分割の方法：株式1株につき3株の割合で分割
- ✓ 株式分割前の当社発行済株式総数：104,181,803株
- ✓ 株式分割後の当社発行済株式総数：312,545,409株
- ✓ 基準日：2021年9月30日
- ✓ 効力発生日：2021年10月1日

➤ **配当予想の修正**

1株当たりの期末配当

予想額に実質的な変更なし

		21年3月期	22年3月期
1株当たり	中間配当	65	70
配当金(円)	期末配当	70	23.34

- 「SCSK Minoriソリューションズ」を2021年10月1日に設立
- 合併の目的
当社グループにとって拡大余地のある中堅企業市場に対する事業拡大を図る
- 対象
Minoriソリューションズ、CSIソリューションズ、Winテクノロジー
- 概要
 - ✓ 合併契約締結日：2021年7月30日
 - ✓ 効力発生日：2021年10月1日
 - ✓ 資本金：4億8千万円
 - ✓ 従業員概算（2021年3月期末時点の3社従業員数合計）：1,412人
 - ✓ 売上概算（2021年3月期の3社単純合算）：260億円

< 当資料利用上の留意点 >

- ・P6に記載の売上高前期比較（業種別）については、一部計上業種の見直しを行ったことにより、前年度の業種別売上金額を組み替えております。

< 免責事項 >

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

【ご参考】2021/05 ~ 2021/07

- 21.07.14 SCSKとNEC、データセンター事業で協業
- 21.07.12 自社の新型コロナウイルスワクチン職域接種予約システムを「S-Cred+プラットフォーム」とAWSの組み合わせにより短期間で構築
- 21.07.01 パブリッククラウド環境をより安心・安全に運用するためのセキュリティマネージドサービス「Smart One Cloud Security」を提供開始
- 21.06.30 ECサイト上での顧客体験（CX）向上を強力に支援
- 21.06.17 SCSKグループの温室効果ガス排出量削減目標がSBTイニシアチブによる「1.5℃目標」の認定を取得
- 21.06.16 ベネフィット・ワンとの協業により人事部門のDXを推進
- 21.06.15 BioCatch社と国内総代理店契約を締結
- 21.06.07 経済産業省が定める「DX認定事業者」に選定
- 21.06.04 多要素認証デバイスの世界大手Yubicoと国内販売代理店契約を締結
- 21.06.03 ファームバンキング接続問題の解決に向け、「AnserDATAPORT」と連携が可能な「スマクラ」新サービス提供開始
- 21.06.01 グリーンボンドの発行条件決定に関するお知らせ
- 21.06.01 沖縄県とSCSK株式会社が「首里城復興におけるDX推進に関する連携協定」を締結
- 21.05.26 新たにクラウドERP「ProActive C4」を今秋提供開始
- 21.05.25 住友商事大型蓄電池事業基盤に Google Cloud™ を導入
- 21.05.12 グリーンボンド発行に関するお知らせ
- 21.05.12 最高情報セキュリティ責任者の設置および就任のお知らせ
- 21.05.10 SCSKとマイクロアドが資本・業務提携
- 21.05.07 2021年度電子帳簿保存法の改正に伴い、電子帳簿保存法要件を遵守したクラウド型のEDIデータ保存サービスを提供開始